

かがやき

■発行／春日井商工会議所女性会 ☎(0568)81-4141 ■編集／広報委員会

女性会『快長』として

〜全力前進!〜



会長
東端 実紀代

浦機械(株)

浅井 久枝

3/8
豊川商工会議所女性会
創立30周年記念式典祝賀会

会員の皆様には日頃より女性会活動にご協力、ご理解を頂き、また参加、参画して頂き誠にありがとうございます。今年度より組織が変わり新しい体制となり、パワーアップした女性会の始まりです。また、委員会の編成、ホームページの開設、女性会主催による「恋のダイサク」など、新たな事業も計画しております。

春本番を思わせるような暖かな日差しに恵まれた3月8日に豊川市民プラザで、豊川商工会議所女性会の創立30周年記念式典が開催されました。東端会長、事務局、私の3名で参加しました。陸上自衛隊豊川駐屯地らっぱ部によるオープニングセレモニーで始まり、〜つむいでいこう女性会の和〜のスローガンのもと、神谷会長を中心に会員の方々の一生懸命さが伝わる式典でした。祝賀会では、食事の一品一品に豊川を中心とした三河産の食材を取り入れた心温まるおもてなし料理が出され、美



パワフルな三河陣太鼓を披露

味しく頂きました。アトラクションでは、日本舞踊松葉流の踊り、自衛隊によるパワフルな三河陣太鼓を見せて頂き、楽しく過ごしました。中でも、キャサリン(AKBスタイルの男性)の歌は思わず笑みが出てしまいました。障害者支援をされているそうです。毎月のように行われる周年事業の多さと会長のパワフルな動き、会員の皆様の団結力には目を見張るものがありました。手づくりの記念品『いなりん文鎮』はかわいく力作でした。



キャサリンと記念撮影

私は他の女性会の行事への参加は初めてだったので、多数の女性会の皆様とお話が出来、良い交流が出来ていると感じています。

4 / 12 平成28年度総会報告

（株）トミモク 富田 みゆき

4月12日、春日井商工会議所にて平成28年度総会が行わ



平成28年度 女性会総会

れました。今年度は役員改選の年に当たり、会長、副会長、監事が選任されました。前年度までは、企画Ⅰ・企画Ⅱ・企画Ⅲと地区別に委員会が設置されていましたが、今年度より、研修、交流、広報の各委員会に別れ、会員それぞれが希望する委員会に所属する方法が取られました。

まず開会の辞に始まり会長挨拶、来賓挨拶、27年度事業報告及び収支決算報告、役員改選となりました。新任理事で会長に東端実紀代さんが選

ばれました。続いて各議事も全て承認され閉会になりました。その後各委員会に別れて食事をしながら委員会を行いました。新役員の皆様2年間の皆様も新しい試みですのでよろしくご協力願います。

5 / 23 青年部との合同講演会

「歴史が教えてくれる日本人の生き方」

（鮎澤）レスサービス 鮎澤 安子

私たちの東端会長が、いつものように素敵なお着物で、元気いっぱい挨拶をしてくださり、昨年からの続き2回目となる「女性会と青年部の合同講演会」は、始まりました。今回は、全国各地で歴史の講演会を精力的に行っている「博多の歴史」白駒妃登美（しらこまひとみ）さんの講演でした。

まず「LIFE」という8分間のビデオを観させていただきました。白駒さんの道徳

の授業を受けた中学生の放送部員たちの製作番組でした。NHK全国中学校放送コンテストに出品され、全国第2位の優秀賞を獲得したものです。かけがえのない「命」一番大切なのは「命」を感じたであろう純粋な中学生たちの思いが伝わり、感動しました。その後、登壇された白駒さんは、まるでバラの花のように美しく、輝く笑顔で、明るく最後まで力強く語ってくださいました。

彼女は、幼少より伝記や歴史の本を読み育ち、福沢諭吉に憧れて慶應義塾大学に進学。卒業後JALに入社し、日本を客観的に見ながら7年間国際線に勤務。その後、がんを発症。そんな時に、以前読んだ正岡子規のことが頭に浮かび、病の激痛に苦しみながらも文筆活動を続けた子規から「今を受け入れ、最善をつくし、精一杯生ききる」覚悟を定められました。過去の日本人がしてきたように「大切な人た

ちを笑顔にしたい！」「命にかえてでも守りたいものがある」と自覚。生き方を変え、抗がん治療が始まる前に、がん細胞がきれいに消えてしまったそうです。「恩」に報いたいと実感、ご自分に宿っている日本人の遺伝子のスイッチがONになったといわれました。

さらに、真田幸村、徳川家康、織田信長、立花宗茂等戦国武将の「思い」のお話の中で、逆境が組織を育てること、内部崩壊があつて企業が栄えることはないといわれました。過去のすべての出来事は、今のためにあつたのだということ。古事記からずっと続く日本の歴史は、先人たちの『志』のリーダーだともいわれました。ちゃんとした日本人になることが、国際人だといわれました。

今回の、経営者として抱える問題、今後おこりえる逆境・挫折感を乗り越える力を歴史上の人物から学び、事業経営

及び人生のヒントをいただくというコンセプトでの講演会に参加させていただくことができ感謝です。



“博多の歴女” 白駒氏による講演

購入した白駒さんの著書の帯に「人に愛される人」になれたら仕事が好転、人生も変わる！」とありました。自分の命を何に使うのかを改めて決意しました。

6/22 視察研修会

「後藤サポテン・小牧ワイナリー・木野瀬印刷視察」

野村事務所 野村 多美子

6月22日 朝 熊本地方に震度3の地震があり、また連日の梅雨前線で100ミリ以上の大予報で土砂災害の発生が心配とのニュースを聞いて心を痛めて商工会議所へ急ぎました。

雨になるかも知れぬと思いきや私達女性会は晴れ女がいつばい 心配無用、バスは9時半出発 最初の見学先は、桃山地区の後藤サポテンさんへ 庭先で息子さんよりこの地区でサポテン栽培が始まった経緯 伊勢湾台風で当時の桃、ぶどう、リンゴの果樹が全滅し苗木から出直すには年月もかかるしと手掛けたのがサポテンの実生栽培だった事

これも盛衰があり、農家は激減し現在に至っていること。春日井市から全国に春日井サポテンを発信するため食用サポテンの生産農場を建設し、楽天市場に出店するなど積極的に事業展開をしていると汗をふきふき熱い思いを語って下さいま

した。私達も外での立ち話なのに蒸し暑さにも負けず聞き入っていました。



サポテンの説明を真剣に聴講

三班に別れ試食、鉢植、農場見学と進みました。

食用サポテンは普段一番見慣れているウチワサポテン(果肉植物)のトゲを取り、生食でサラダ、炒め物、ジュースとメニューの範囲はこれからだとのこと、今日試食したサラダは美味しかったです。早速料理に利用できるわと何



寄せ植え体験の様子

人かの会員さんがお土産に購入されました。鉢植は5種のかわいいサボテンを小鉢に寄せ植え、水やりは適当、3年位で花が付き、寿命は50年位とのこと。見届けられませんと会員さんたちの笑い声。農場には海外からの委託栽培の珍しい品種も沢山あり、鮮やかな朱色の花（これも朱色のサボテンの接ぎ木）が目を

楽しませてくれました。
むし暑い農場を出て昼食は和食海鮮茶屋味香美へ



ぶどう農園の見学

午後からは小牧市野口地区の小牧ワイナリー「ななつぼし葡萄酒工房」の視察、見学のためバスで移動

ここは平成9年に重度の身体障害のある人達が地域で自立生活するための働く場として「ななつぼし葡萄酒工房」の前身である「ピア名古屋」から始まりました。その後知的障害のある人も相互利用する障害者就労支援事業所としてワイン事業を加え、多治見修道院をはじめ、世界の修道



オリジナルワインを試飲

院ワイン、オーストラリア農場のオリジナルワインの通信販売を中心と販路拡大し、平成25年には障害者の平均給与は年間約71万円、平成27年には年間100万円を目標にこの年現在地の「小牧ワイナリー」の施設が開所されました。

現在は40名の障害者が裏山のぶどうの栽培畑の作業、野菜の栽培、ワインの醸造の梱包作業の補助作業に 就労へ移行できる人は一般就労をめ

ざして訓練しているとの事です。地下1階の醸造施設はぶどうの収穫時でないため真新しいタンクが幾つも並んでいました。

カフェでゆっくりコーヒータイム

本日の最終視察・見学の木野瀬印刷(株)へ移動

春日井市で創業70年活版印刷から始まり、オフセット印刷から最新のオンデマンド印刷まで、印刷の分野を限りなく追及された二代目木野瀬代表取締役 社長自ら会員の私達を出迎えて下さいました。

新社屋からは、県営名古屋空港、春日井市内の遠望が大きな窓ガラス越しに見える明るい大会議室で概要説明、印刷の歴史、色のお話ではカラフルな印刷物が4色「黒・イエロー・シアン・マゼンタ」のみで出来ることに驚きました。

続いて、先頭に立って各部署の案内をしていただきました。私も印刷業という「男はつらいよ」のタク社長の作

業所、騒音と油污れ、原稿の散乱をイメージしていましたが、案内されたコンピューターが並んだ整理された職場で働いている人たちの明るい笑顔にびっくりしました。



すばらしい講義に「さすが！」の声

「必要な物を、必要な時に、必要なだけ」を各種の印刷機を取り揃え設備の充実、技術力の向上に取り組み、作業の効率化、品質の向上、短納期に請け負うサービスを提供していくために、社員教育、特に営業部員、企画部員の養成

にも力を注いで一層の向上に努めていると力強いお言葉を何度もお話ししていただきました。

帰り際には、さすが印刷のプロ！私たちの記念写真と視察の風景（皆さん真剣に勉強しています）が載った木野瀬新聞が発刊されました。素早いこと、号外です。びっくりです。

社長の「利他共栄」の理念に感銘して帰途のバスに乗りました。



木野瀬社長と記念撮影

行事予定

9月6日（火）研修会
10月15日（土）春日井まつり
16日（日）

※平成27年度お抹茶提供事業の売上金一部を春日井市母子寡婦福祉会（白ゆり会）に寄付いたしました。

また、「平成28年熊本地震」災害義援金として、特別会計より1万円寄付させていただきます。併せてご報告申し上げます。

11月6日（日）（予定）宿泊視察会
11月7日（月）
11月27日（日）（予定）恋のダイサク
12月（予定）会員懇談会



白ゆり会へ贈呈

広報からのお知らせ

いつも、広報活動へのご理解とご協力ありがとうございます。

この度、「かがやき」において、「会員企業紹介コーナー（仮）」を掲載する事となりました。

「かがやき」では是非自社を紹介したいと思われる方は、商工会議所へご連絡をお願いします。

なお、掲載スペースに限りがあり全ての企業様を紹介するのに時間が掛ることもございますがご了承ください。

逆に、応募者が少ない場合お声掛けをまいりますので、その折はご協力の程お願い致します。

詳しくは、商工会議所 経営支援課 伊藤まで



新入会員紹介



(株)トーワ住宅
丹羽 その子
中央通1-8-1
☎85-1211

今年度から会員となりました、株式会社トーワ住宅 丹羽と申します。

子どもが2歳の頃からずっと大黒柱として働いています。が、女性が社会へ出て仕事をすると本当にさまざまな壁があります。年齢に関係なく女性が活躍しやすい社会になってほしいと私は願っております。皆様どうぞよろしくお願いたします。



(有)春日井サイクル
布野 陽子
東野町4-11-7
☎85-0808

この度女性会に入会させて

頂きました布野陽子でございます。春日井に生まれ春日井で育ち春日井の春日井サイクルにお嫁に来て早25年になります。

自転車を通して社会貢献をしていきたいと考えております。一人の力では何も出来ず、五人十人と力を合わせれば何でもやり遂げられると信じております。人は幸せになる為に生まれてきていると最近気が付き、自分も相手も共に幸せに生きていけるように顔晴りたいと思っております。まだまだ若輩者でございますので諸先輩方のご指導をよろしくお願い致します。



(株)ケベック
森 裕美
中新町2-24-13
☎32-1000

この度、入会させていただきました。きました(株)ケベックの森裕美と申します。

女性会では母が30年程お世話になっておりましたが、こ

のたび事業を継承するに当たり私が入会させて頂く事となりました。

事業内容は、家庭雑貨や園芸用品の販売と合鍵作成が主な業務です。

5年前に立ち上げた通販事業は主要4モールに出店しており私はこちらの業務に携わっております。

弊社の経営理念に、『店はお客様のためにある』『期待値以上の感動をお客様にお届け』感謝と真心をもって地域社会の発展に貢献します」と言う言葉があります。

父が築いたケベックはお客様や取引先の皆様に支えて頂きながら、材木業から始まりホームセンター事業、通販事業と業態を変え、時代の流れに沿って存続してまいりました。今後この理念を引き継ぎ自分自身と会社をもっと成長させていきたいと考えております。

どうぞご指導の程、よろしくお願い致します。

編集後記

皆様のご協力により、かがやき102号を発行する事ができました。原稿の寄稿ありがとうございました。

広報委員会

女性会入会のご案内

女性会は、商工業に携わる女性経営者等の相互研鑽の場として、研修会や視察研修会、地域振興活動を行うことにより、会員の経営資質の向上や会員相互の交流を図りご商売の発展と豊かな地域社会を築くことを目指して活動を展開しております。

女性経営者（準ずる）の方、女性会に加入して、一緒に活動しませんか。

【連絡先】〒486-8511
春日井市鳥居松町5-45
春日井商工会議所

経営支援課

TEL(0568)81-4141